

「法の日」週間 法曹三者共催企画

法曹とともに～司法を支える人々～

弁護士とともに～法律事務職員

10月1日が何の日か知っていますか？そうです、「法の日」です。

皆さんに、法の役割や重要性について考えていただくきっかけとなるように、との願いを込めて制定されました。裁判所、検察庁及び弁護士会では、10月1日からの1週間を「法の日」週間として、毎年企画を実施しています。

さて、今年度は、「法曹とともに～司法を支える人々～」をテーマに、弁護士会では、弁護士を支える「法律事務職員」を紹介します。

ここからは、愛知県弁護士会の公式キャラクター『ひまるん』に紹介してもらおうよ！



こんにちは！
今回は、3人の法律事務職員からお話を聞けるん！とっても楽しみだるん！
それでは、さっそく、次の頁からインタビューするん！

- ・ 法律事務職員の仕事～弁護士法人小山・古澤早瀬～
➡ 2 頁目へ
- ・ 法律事務職員（士業資格保有者）の仕事～弁護士法人東海総合～
➡ 3 頁目へ
- ・ パラリーガルの働き方～弁護士法人愛知総合法律事務所～
➡ 4 頁目へ

法律事務職員の仕事～弁護士法人小山・古澤早瀬～

Q.法律事務職員さんになったきっかけを教えてください！

中学生の頃にたまたまドラマ「離婚弁護士」を観たことがきっかけです。弁護士と、弁護士とともに働く事務職員が活躍していたドラマで、どちらもカッコいいなと単純に憧れたことを覚えています。その思いがずっと残っていたため法学部のある大学に進学し、結果、弁護士に憧れはあるものの司法試験に挑む自信はなかったため、事務職員になりました。

Q.お仕事内容や一日のスケジュールはどうなっているん？

電話対応、来客対応、書類取寄せ、裁判書類の受領・提出、コピーファイリング記録の管理など幅広く行っています。法律事務職員ならではの仕事としては、戸籍の取寄せによる相続人の調査や相続手続き、破産申立てに際し行う破産者の財産や負債の調査・書面の作成等があります。

一日のスケジュール例は、次のとおりです。

- ・朝・・・掃除、ファックスと郵便物の仕分け作業、留守電やメール、弁護士のスケジュール確認
- ・午前・・・電話・来客対応、弁護士の指示による書面の作成補助及び提出等
- ・午後・・・午前の業務に加え、裁判所や弁護士会、法務局等へのお遣い、事務所の会計処理等

Q.やりがいや魅力、大変なのはどんなところなん？

事務職員が依頼者に直接関わることはないため、弁護士のように表舞台で活躍することはありませんが、弁護士を補佐して事務処理をこなすことで、結果として依頼者の問題解決に繋がりますし、うまく事件が終わると嬉しく思います。一方で、預貯金や株式等の相続手続きなどは、銀行や証券会社等に一社一社連絡をして、事情を説明し、必要書類を揃え、窓口に出向く必要がありますので、手続きの過程に大変さを感じる場合があります。

Q.今後の目標を聞きたい！

長く勤めている今でも、事件の種類によってわからないことがまだまだあり、書籍やネットを駆使して調べて、弁護士に質問するなどしているため、もっと知識を得ていけたらと思います。



これから法律事務職員
さんを目指す方へ一言
お願いします！



一般の事務職とは違う専門的な事務職に感じますが、ある程度パソコンスキルがあれば専門的知識がなくても目指せる職種なので、頑張ってください。

法律事務職員（士業資格保有者）の仕事～弁護士法人東海総合～

Q.法律事務職員さんになったきっかけや資格を取った理由を教えてください！

私は、社会保険労務士の資格を持ちながら法律事務職員をしています。

大学の法学部に進学した後、所属していたゼミの先生からご紹介頂き、大学卒業前より法律事務職員のアルバイトとして勤務し、大学卒業年の4月から現在の法律事務所に正式入所しました。

弁護士・税理士と一緒に仕事をする中で、資格を持つ事の大切さを実感し、自分も何か資格を取ろうと思い、終業後に資格の学校に週2～3日通学しながら、3回目で資格合格しました。

Q.普段どんなお仕事をしているん？

保有する資格（社会保険労務士）を活かし、弁護士の指示・監督の下で労務案件の一環として残業代計算や、顧問企業から依頼のあった各種規定作成案件の中で就業規則等の草案の作成業務等を行います。その他にも、一般的な法律事務職員の仕事として、裁判所への書面提出業務や各種資料の取り寄せ、案件記録の整理といった弁護士の仕事のサポートを行います。

Q.やりがいや魅力、大変なのはどんなところなん？

弁護士の指示・監督の下でのサポート業務とはいえ、自らの資格を活かした業務をする以上は、成果について責任を感じることも多いため、その点が資格を有するがゆえの大変なところです。

しかし、資格を有していることで、書面提出業務や各種資料の取り寄せといった定型的な法律事務職員の仕事のみでなく、各案件の具体的な内容に触れるような業務にも多少なりとも携わることができるため、毎回、新鮮な気持ちで仕事ができるのが魅力だと思います。

これから資格を持った法律事務職員さんを目指す方へ一言お願いします！



二つの側面をもった魅力的な働き方だと思います。こうしたスタイルの法律事務職員にも興味を持って頂けたら嬉しいです！



パラリーガルの働き方～弁護士法人愛知総合法律事務所～

Q.お仕事を始めたきっかけを教えてください！

私は、法科大学院を卒業後、司法書士事務所での勤務を経て、平成27年にパラリーガルとして入所しました。入所した主な理由は2つあり、1つは、複数の士業が在籍している事務所だと知り、法律問題をワンストップで解決できることに魅力を感じたこと、もう1つは、法科大学院で学んだ知識を活用した仕事に就きたいと考えたことです。

Q.普段どんなお仕事をしています？

弊所では、離婚・相続・破産等の各分野にパラリーガルが配置され、配置された部署で専門分野に特化した事務処理を行っています。私は、離婚専門部に所属しており、法律事務職員としての事務である電話や来客対応、簡易な書面作成等に加え、パラリーガルとして法的な争点について、裁判例調査等、弁護士と問題意識を共有し事務処理を進めています。

例えば、こどもを私立学校に通わせたい母親が父親に学費を請求したいとの事案であれば、学費を請求できるのか、できるとした場合にいくら請求できるのかについて、書籍や同様の裁判例を調査することもあります。また、財産分与を行う事案であれば、不動産や通帳等の財産関係の資料がそろっているかの確認を行う等しています。

パラリーガルさんとしてのやりがいや魅力を教えてください！



※本稿でパラリーガルとは、法科大学院修了程度の法律知識を備えた法律事務職員を指します。



法律事務職員としてどこまでの事務処理に関われるか、効率よく仕事を進めるために改善できることはないかを、試行錯誤しながら取り組んでおり、大変やりがいがあります。